

筋ちゃん。オモ・モンタ爵士・フリ爵士のわくわくドット相立てくてく5

国立市立国立第七小学校

花ちゃん 「もう春ですね。きもちいいですね。」

オー君 「そうだね。こんな^{とき}には、^{こうてい}校庭をてくてくしようか。」

花ちゃん 「校庭には、サクラの花が満開だし、それから、ナノハナ、サクラソウ、チューリップ、ネモフィラなど、いろいろなお花が咲いているわ。みんなで探しにいきましょう。」

オー君 「そうしよう。そうしよう。」

花ちゃん 「あれあれ？あの昇降口の前に何かあるわ？見に行ってみましょう。」

オー君 「そうしよう。そうしよう。」

ということで、てくてくして、その花を見て…

花ちゃん 「あれあれ？白いダイコンがつきささっているわ。」

オー君 「ということは、この花はダイコンの花ということだ。」

花ちゃん 「わたしもいろいろな花は好きだけど、ダイコンの花というのは初めて見るわ。」

オー君 「ダイコンといえば、ダイコンおろしとか、ダイコンのおでんとか、ダイコン
の味噌汁とか、食べることしか考えていなかったけど、こうしてみると、
ダイコンの花ってなかなかいいね。あ！発見したよ。ダイコンは4枚の花び
らがあるんだ。」

花ちゃん 「花びらの色はまっ白で、とてもきれいな感じですね。」

「でも、どうしてダイコンが鉢の中に植えてあるんだろう。これは、国立小学校のミステリーかもしれないぞ。そうだ！ モンタ博士に聞いてみよう。」

花ちゃん 「なぜ、ダイコンが鉢に植えてあるのですか。」

モンタ博士「答えはミステリーでも何でもないよ。このダイコンは冬の間にモンタ博士が
学校近くのハ百屋さんで買ってきて、さして置いたものなんだ。ダイコンの
花なんて初めてだろう。よく見て、いろいろと発見を楽しもう。」



ダイコン
(アブラナ科)

ダイコンのつぶやき

私はダイコンです。大きな根と書いて大根ですが、白く大きく太っているのは根だけではなく、胚軸という部分もあるんです。貝割れ大根はダイコンの芽生えであり、双葉のすぐ下にある茎は胚軸と呼ばれています。ダイコンをよく見ると、根の生えている所やその痕跡があるのが根であり、上方の真っ白でつるんとなっていますが、これが胚軸と呼なんです。植物は根・茎・葉からできているというのは常識ですが、ダイコンの場合の茎は、葉の付け根にある短い部分だけなんです。

ダイコンの花は、白いナノハナのように見えますが、それはダイコンもアブラナ科の植物、野菜だからです。ダイコンの学名は、*Raphanus sativus* (ラファヌス・サティバス) で、サティバスとは、栽培すると意味です。ダイコンの栽培の歴史は古く、原産地は地中海沿岸なんです。古代エジプトでは、薬草として栽培されていたという記録もあります。大根は根も深いが奥も深そうでしょ。